



呉港高校の先生による面接学習会

11月30日（木）、呉港高等学校から松本教頭先生、甲田先生に講師として来校していただき、面接学習会を実施しました。本校の3年生は、毎年、呉港高等学校の先生にお願いして、入試当日の面接を想定した指導をしていただいています。校内での練習でも、一生懸命取り組んでいますが、今回は実際に呉港高等学校の先生が面接官として質問されるため、緊張感のある本番さながらの学習会となりました。3～4名ずつのグループ面接の形式で行い、2名の面接官の先生方には多くの質問をしていただきました。

- ・「本校を志望した理由は何ですか。」 ・「中学校で印象に残ったことは何ですか。」
- ・「高校に入学したらどんな学校生活を送りたいですか。」
- ・「中学校生活で失敗したことと、失敗からどう考えどう行動したかを教えてください。」
- ・「自分の趣味・特技と、それをやっていて良かったと思うことを教えてください。」
- ・「尊敬する人とその理由を教えてください。」
- ・「小学校時代の自分と変化した点は何ですか。」
- ・「AIが発達しても無くならない仕事にはどんなものがあるでしょうか。」

などの質問に対して、3年生は丁寧に返答していました。呉港高等学校の先生方からは、「全体的にはよく練習されていて、とても良かった。」という感想もいただきましたが、今後さらにハイレベルにしていくため、次のようなアドバイスをいただきました。

①高等学校側にぜひ来てほしいと思われる態度をとること。

- ・入室前にボタンや靴、裾など、服装の最終確認をする。
- ・前髪は眉にかからないように、切るかピンでとめる。
- ・複数の面接官がいる場合は、質問者の方を向いて答える。
- ・目線がキョロキョロ動かないように注意する。質問者のネクタイのあたりを見るとよい。
- ・イスには浅く腰掛け、胸を張り、手や足が動くことのないようにすること。



②予期していない質問に対しては、柔軟に対応し、簡潔に必要なことを答えること。

- ・準備していない質問に対しては、目線が動いたり、声量が小さくなったり、「えーと」を多用したり、早口になったり、手や足が動いたり、素の自分が出やすい。あせらず、はっきりと！
- ・深く突っ込まれた質問をされても自信をもって話せるよう、しっかり準備しておくこと。
- ・途中でつまった場合でも、「すみません、言い直します。」「すみません、少し考える時間をください。」など、焦らず冷静に対応するとよい。

また、『～です。なので…』と話す生徒が多くいますが、「なので」は文中で使う言葉であり、文頭で使うことはできません。正しい言い換え方として、『～です。だから…』や『～です。そのため…』などがあります。練習していても、緊張して、つい『～です。なので…』と答えてしまうことがあります。これから練習していくときには、これまで以上に意識して『～です。だから…』や『～です。そのため…』と答えるようにしましょう。

【面接学習会の様子】



呉港高校の入試まで 50 日を切っています。本番のつもりでこの授業を受けてください。

控室や登下校時の過ごし方にも気を付けましょう。



イスには浅く腰掛けること！



出入りはバッチリ！
自分がどの位置になっても
いいように練習しておこう！



表情が伝わりやすいように、
前髪を切っておくこと
目線が動かないように！！

面接が終了し面接官から「終わります」と言われたら、自分の判断で、起立し、「ありがとうございました」を言おう！！